



令和2年11月8日（日）、富山国際会議場メインホールにて「日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に」というテーマで世界遺産登録推進シンポジウム2020「立山砂防防災遺産シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムでは、世界遺産の最前線で活躍する専門家による、世界遺産における歴史的防災施設の意義についての講演やパネルディスカッションを通して、立山砂防の顕著な普遍的な価値や魅力、さらに世界遺産登録へ向けた今後の戦略について議論がなされました。

今回は新型コロナウイルス感染防止のため来場者を200人に絞り、シンポジウムの様子を動画投稿サイト『ユーチューブ』で生配信されました。

世界遺産登録推進シンポジウム2020

『立山砂防防災遺産シンポジウム』

-日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に-

- 日時：令和2年11月8日（日）13：30～17：00
- 会場：富山国際会議場 メインホール

～プログラム内容～

- ◆講演1：『世界遺産の動向と立山砂防』  
西 和彦 氏（独立行政法人 東京文化財研究所国際情報研究室長）
- ◆講演2：『自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防』  
石井 隆一 氏（富山県知事）
- ◆アニメ映像上映「立山砂防・土砂との闘い～世界に誇る防災遺産～」
- ◆パネルディスカッション

講演Ⅰ『世界遺産の動向と立山砂防』



講演Ⅱ『自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防』

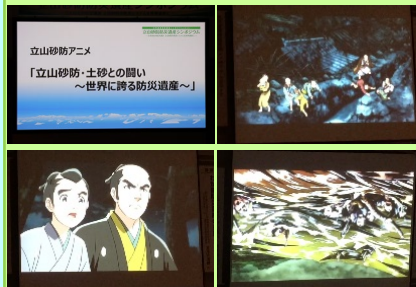


来賓挨拶



今井 一之  
(国土交通省 水管理・国土保全局砂防部長)

アニメ映像上映



安政年間の災害の状況から、現在の砂防事業の取組みまで分かりやすくまとめたアニメ映像が上映されました。

パネルディスカッション

国内外の有識者を交えて立山砂防の顕著な普遍的価値について「世界の20世紀遺産の世界遺産登録の推進」、「立山砂防の国際的な評価・意義」、「世界遺産登録に向けた今後の取り組み」とのテーマで議論されました。



映像による出演

